

GOT1000シリーズ新モデル“GT16”

有馬亮司*

Graphic Operation Terminal(GOT1000 Series) New Model “ GT16 ”

Ryoji Arima

要旨

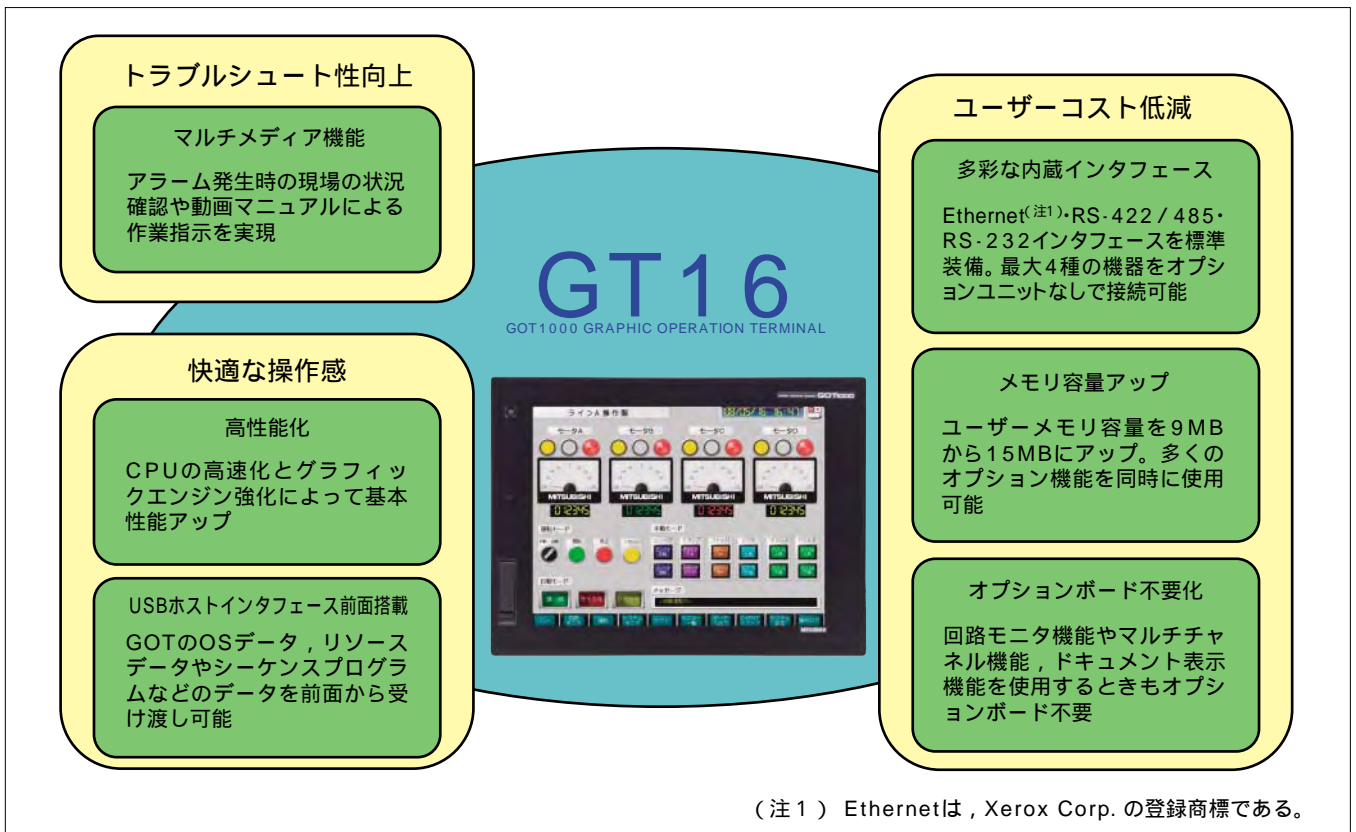
2004年7月に三菱電機はGOT1000シリーズ“GT15モデル”の発売を開始した。GT15モデルでは、回路モニタ機能や、バックアップ/リストア機能など、トラブルシュート、ダウンタイム短縮を目的とした、保全作業のサポートに効果を発揮する機能を顧客に提供することによって、“装置のダウンタイム短縮のソリューションに優れた表示器”として高い評価を得るに至った。

一方、表示器の装置やシステムにおける役割は年々大きくなっており、更なる高性能化・高機能化が求められている。本体の高性能化による、画面のモニタとロギング機能などの両立による快適な操作性、保全作業における動画などを用いたトラブルシュート性向上、動画マニュアルなど

を用いた作業効率化要求などが代表的である。同時に、装置全体としての低コスト化要望も、変わらず大きい。

これらのユーザーの要望に対応するため、当社は2008年8月に“GT16モデル”の発売を開始した。GT16モデルでは、GT15モデルの強みをそのままに、基本性能の強化、多様な内蔵インタフェース標準搭載、メモリ容量の拡大、オプションボード不要化(オールインワン化)によるユーザーコスト低減や、アラーム発生時の動画録画、動画マニュアル再生(マルチメディア機能)によるトラブルシュート性向上などを実現した。

本稿では、GT16モデルの主な特長及び新機能について述べる。



GOT1000シリーズの新機種“GT16モデル”

“高性能化” “オールインワン化” “マルチメディア機能”によるトラブルシュート性向上と、ユーザーコスト低減を実現し、さらに進化した“GT16モデル”である。